臺灣日日新報
本日四頁

スマトラ島在敵司令部 要衝パダンを占領す

トバ湖北部の殘敵掃蕩終る

【パダンにて二十日同盟特派員發】十二日未明スマトラ北部東海岸に一齊に上陸を敢行、以來北部スマトラの殘敵掃蕩中のわが陸軍〇〇部隊の一部は數箇所において敵の小抵抗を排し東海岸のメダンより中央山脈を越えて斜めにスマトラ島を縱斷する蜿蜒一千粁の山嶽道路を長驅して早くも去る十七日午前三時三十分蘭印スマトラ軍司令部の所在地たる西海岸の要衝パダンを占領、直ちにパダン東方百粁の地點にある中部スマトラ攻略部隊と連絡すると共に同方面における捕虜約一千七百の武裝を解除し占領地の治安維持に萬全の努力をなしつつある、またこれと並行して他の部隊は上陸後數日にして中央山脈中のトバ湖北側地區の掃蕩を終り、更に二十日トバ湖中のサモシル島の掃蕩を終了した

ブルーム、ダービー（濠洲北岸）爆撃

飛行場附近に爆彈の雨

【リスボン二十一日發同盟】カンベラ來電、濠洲政府二十一日公表、日本航空隊は二十日朝濠洲北岸のブルームを空襲し同地飛行場附近に爆彈の雨を降らせ更に同港附近を航行中の船舶一隻を攻撃した、これと同時にダービー港をも爆撃、船一隻に機銃の猛射を浴せた

【リスボン二十一日發同盟】シドニー來電によれば日本航空部隊は二十一日午後濠洲西北岸に爆撃を伸ばし、ブルームに對し大爆撃を敢行同地飛行場に多數の命中彈を與へた

バタビヤ政治再建

地方行政官會議を招集

【バタビヤ二十一日發同盟】わが軍政部では二十一日バタビヤにおいて西部ジャバのバタビヤ及びメーステル、コルネリス兩州地方行政官會議を招集、地方行政一般に關し指示を與へることとなつたが、引續き各地方に地方行政官會議を招集する筈である、近く軍政部は政治再建に關するわが軍大綱明が發表される

縺れる英濠の反目

當のケーシー態度表明

【ストックホルム廿一日發同盟】ロンドン電報によればケーシー駐米濠洲公使をチャーチル首相の閣議の英戰時内閣閣僚として近東駐在國務相に任命した問題は、英濠間の反目は其後益々惡化し英濠兩國の重大問題化する傾向があるのでチャーチル首相は最近の議會で之に關する説明を行ふと共にカーチン濠洲首相の異議申立に對しては自ら讓歩しない方針で進むものと見られてゐる。

我が戰車隊に大破された敵重戰車（臨實部外）

不可解な問題

濠洲紙論ず

全米商船を武裝

翼贊議會の確立へ

翼政支部長會議を開催

清新有爲の人材

愼重銓衡して議會へ

阿部翼贊會長挨拶

事態

國民

確立

開會

獨軍近く攻勢開始

戰局を最後段階へ

ケソン（前比島大統領）暗殺さる

米の非道手段暴露

國府近く全國

海軍會議開催

選擧貫徹の"誓"

沖繩支部長決定す

濠洲陸相はマッカーサーを語る

海軍省公表

沖繩會員銓衡、支部長に一任を決定

マッカーサー大言壯語

だが逃口上も附加

昭南島及マレー

交通通信復舊進捗

一、鐵道

二、道路

三、自動車

四、航運

五、航空

六、通信郵便

米砲艦撃沈を確認

濠外相ル大統領會見

米、對蔣五億弗借款

廿一日調印成る

獨潛艦空軍の戰果

無敵海軍の威力に

泰國の態度決定

前泰國大使二見氏寄臺談

パイロットインキ 2オンス入 ￥.20

ぜんそくに 頓服で効く ひろ喘息藥 本舗 柴崎製藥所 全國藥店にて販賣す

昭和書房 新刊重刊版
鷲尾雨工著 新編太平記 價二・〇〇 〒・一四
鷲尾雨工著 續新編太平記 價二・〇〇 〒・一四
リンゼイ・アンダーソン 阿片密輸船員の手記
醫學博士 入江光櫻子著 女と死（或る醫學者の手記） 價一・五〇 〒・〇九
式場隆三郎著 結婚の敎養 ￥1.80
式場隆三郎著 女性ノート 價一・六〇 〒・〇九
赤須文男編著 若き女醫の手記 ￥1.80

モラエス著 日本歴史 B6判三百頁上製 定價二圓 明治書房
アラビア紀行 榮養探究 隨筆 船 ニッポン

多數の寫眞入て興味深く說く 青少年向科學圖譜
中正夫著 航空の驚異
山本一清著 天體と宇宙
偕成社

再出版來 淺香末起著 南洋經濟研究 千倉書房
最新刊 上坂酉三著 貿易講話
最新刊 竹中龍雄著 公企業講話

社説

臣節運動と頬被り的態度

學校教育への要望加はる

一

今は凡ての人が、形よりも先づ心を整へ、それを直に臣道の上に實践して行く時代である。"右へならへ"の號令に一齊が一人殘らず隊列を整へ、大政翼賛または皇民奉公の行進において歩調を揃へ、歩武堂々、國民的大進軍に一歩たりとも遅れぬことを心掛くべき秋である。これが内地では所謂"翼賛調"であり、臺灣では"皇民より"であるのだ。

[illegible]

督府勞務課

勞務行政陣を補強

動員計畫の目的達成へ

新年度豫算で係官の増員を要求

[illegible]

勅任官へも 家族手當支給

[illegible]

英濠間惡感情爆發

ケーシーの"內閣"入りに起因

[illegible]

和蘭政治へ復讐心

スマトラ島の實状を見る

[illegible]

敵大艦隊攻撃の報

太平洋上に索敵の進撃

敵は逃げた・口惜がる海の勇士

[illegible]

わつとあがる歓聲

[illegible]

白波を蹴つて進む

[illegible]

鑛石の布陣成る

[illegible]

怒濤甲板を洗ふ

[illegible]

遂に敵影見ず!

[illegible]

徹底的に破壊してある

[illegible]

戰爭即建設の示現

和蘭と爪哇間に日の丸の鵬翼

地雷が

[illegible]

滑走路を埋め十一日朝

[illegible]

半島中央線開通

交通網の充實成る

[illegible]

戰死後入籍手續

薄倖の內妻と子に朗報

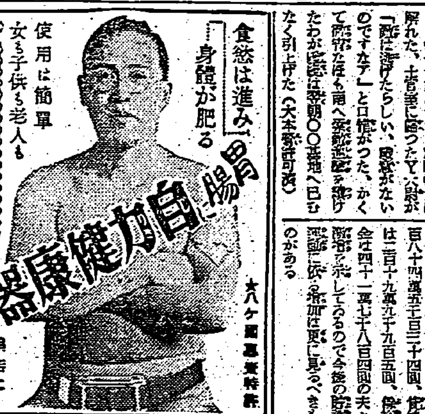
[illegible]

新竹州愛國貯蓄の目的達成に邁進

[illegible]

臺灣砂糖貿易組合長に藤山氏

[illegible]


食慾は進み身體が肥る
使用は簡單 女も子供も老人も
のぼせ性にも便秘症にも!
自力健康器
大八ヶ國專賣特許
藥店にあります

本格 葡萄 酒
白王ホワイトワイン
美味滋養

無線 講義
獨學で無線通信士技術者となれる
東京無線技術學校
東京無線技術學校出版部

川端康成著 創作集
愛する人達
秘かに愛を育てる女ごころの美しさ、清純を求める處女のときめき、或は人妻の心理のニユアンスなど澄み切つた抒情味に溢るゝ九篇の傑作集である。

林芙美子著 長篇小説
川歌
働くことに歓びを感じ、巷の片隅に善良に生き抜く尊い人生を描き、都會生活の中に浮沈する現代女性の様々な姿を展開する。

増版 純情 藤森成吉著
増版 ことづけ 眞杉靜枝著
出來 夕雀草 堤千代著

東京牛込 新潮社

松下三省著 生命 人間とは何ぞや
湯淺明著 谷の生とは何か
松原寛著 文意 青年の哲學
雄義 著 人生叢書
宮崎安右衛門著 捨て身の生活
伊福部隆彦著 青年の道
伊福部隆彦著 無爲の人生觀
菅原時保著 本來の面目
三室玄道著 念佛の人生觀
岡部伊都子著 救ひの論理
織田得能著 大乘文字禪
三田谷啓著 女性に送る
三田谷啓著 若き女性の問題
河合静太郎著 觀音の精神
同文館

一瀬直行著(短篇集)
怒りの町
新刊
詩劇 白夜
戰ふ日本文學!!
アメリカと戰爭
これぞ一億國民必讀の書!
櫻木書房

吉川兼光著 全體主義十講
三吉朋十著 東亞共榮圈と比律賓
芳賀雄著 東亞共榮圈と南洋華僑
刀江書院

原料の精選
技術の優秀
設備の完璧
が品質を創る
ライオン歯磨こそ右の三條件にたゆまざる努力と研究を拂つてゐます。
ライオン齒磨本舗
ライオン齒磨

藥用 ゼオラ 齒磨
咀嚼力が不完全では長期榮養戰に耐えません!
咀嚼力を倍加するゼオラ!

SANKYO 三共
食慾不振に
強力消化酵素
タカヂアスターゼ
一般局方ヂアスターゼとその組成を異にし、澱粉糖化力の著しく強大なることは勿論、麥芽、蛋白質ペプトン、脂肪、纖維素その他種類分解酵素等數種を含有し、消化不良、食慾不振に適應す。
三共株式會社 臺灣三共株式會社

油のへらぬ密封ベアリング附
三菱モートル
三菱電機株式會社
三菱商事株式會社

網膜に映じた"母の顔"
兩眼負傷の勇士危ふく命拾ひ

【○○基地二十二日發同盟】兩眼を敵彈に射抜かれたが網膜に映ずる母の顔に思はずかつと兩眼を見開いた時危ふく敵の銃口を避けて死の一歩前を救はれた勇士の母の顔物語

過ぐるマレー作戰の中部戰線五日夜陣につぐ陣地の白兵戰によつてシンガポール防衛の最後の陣地グルン北方地區の敵陣も遂に總崩れとなつて陣地を放棄した敵はトラックを驅つて算を亂す如く敗走した、この時早くも敵後方に迂回してゐた大塚部隊は道路両側の林中より一斉にトラック群に猛射を浴せてこれを止めた[illegible]

射抜かれその場に俯伏せとなつたが再び身を起し右手で力一杯血しぶきを抑へて[illegible]

無意識の中にも傍らの[illegible]

わが部隊は十五日敵陣に白襲撃をやられ敵陣を右に傾けながら突進に移つたがわれわれからよく聞つたと思ふ

着水中の我飛行艇
襲來した敵機撃墜

【東京發同盟】南太平洋○○基地十九日發海軍報道班員發、わが海軍○○基地の大型飛行艇は去る三月○日午前○時ニューブリテン島○○基地に燃料補給水中折柄の雨雲を縫つて飛來した敵ブレンハイム機の急襲に際し頭上から爆彈する敵機を物ともせず勇敢に應戰、着水中の飛行艇が空中の敵機との一騎討ちでよく敵を撃墜したことは開戰以來稀有のことであらう[illegible]

敵機に吸込まれるやうに[illegible]

爆音が聞えて來たので[illegible]

臺灣遺兒部隊入京
"對面"を待侘び一同元氣一杯

【東京本社電話】皇國の柱石として護國の華と散り殉國の御靈となつた[illegible]

對面のため遙々遠く臺北市出身太田靜太郎の遺兒勇君（國民學校）等二十二名は[illegible]

報告を行ふ[illegible]

督府出張所を訪問

【東京本社電話】小さい胸に九段へ詣ふ感激を秘めて無事にけふ靖國神社へ参拝[illegible]

寡兵・敵堅陣を突破
敵屍を踏越え火の玉進撃

木村兵長　わが隊の乗つた船は二十四日夕刻時にマニラを出る八十キロのラモン灣に着いた[illegible]

皇軍の大和魂を知つた[illegible]

集中砲火を浴びせて[illegible]

白衣の勇士座談會（下）

激戰だつた一月二日のことを語らう[illegible]

戰闘で敵の機銃陣地[illegible]

進軍[illegible]

皇軍の入城を迎へて[illegible]

（大本營許可濟）

軍神の遺家族弔問
嶋田海相・双眸を濡し老夫妻と語る

【前橋發同盟】遠い上毛の山々に圍まれた富士見村の[illegible]

奥床しい家に二十二日午[illegible]

本當にお母さんも御苦勞でした[illegible]

笑顔であつた[illegible]

軍神の譽を永く堅持
横山少佐母堂 感激を罩め語る

【鹿兒島發同盟】[illegible]

遺族に對して[illegible]

大臣は[illegible]

故人の[illegible]

郷軍新竹州聯合分會を三聯合分會に擴大

【新竹電話】[illegible]

臺灣體育に照内末

蓖麻蠶飼育者に獎勵金交付

【花蓮港電話】[illegible]

推進員錬成講習會

【新竹電話】[illegible]

銃後後援會
羅東郡で結成

【羅東電話】[illegible]

バタアン半島の山路を前線へ前線へ征く精鋭

大東亞戰爭を完勝

勇戰の皇軍將兵へ感謝の慰問金募集

大東亞戰爭勃發するや忠勇武なる皇軍將兵は大詔を拜して正に連戰連勝[illegible]

募集規定

一、慰問金は五十錢以上とす
一、現金以外の品物は取扱ず
一、締切は三月三十一日とす
一、本資金の處分は臺灣總督府に一任す
一、紙上掲載を以て領收證に代ふ

臺灣日報社
臺灣新聞社
東臺灣新報社
興南新聞社
臺灣日日新報社

擊滅祈願 東西對抗繼走會
銃後青年鐵脚の敢闘

【彰化電話】[illegible]

西軍優勢

嘉義農林制覇
北工惜くも敗る

【嘉義電話】[illegible]

女子青年に婦徳
羅東郡皇奉支會

【羅東電話】[illegible]

デルモライツ

カガシクレイヨン

ラジオ

◇ニュース放送時間 [illegible]
◇七・〇〇 時報(東京)
◇七・三〇 國民の誓ひ(東京)
◇八・五〇 ラジオ體操(東京)
◇九・一〇 國語普及講座
◇九・三〇 戰時家庭の時間
◇一〇・〇〇 幼兒の時間
◇一〇・三〇 戰時家庭の時間
◇一一・〇〇 放送國民學校
◇一一・三〇 經濟通信(東京)
◇一一・五九 正午の時報(東京)
◇〇・一〇 吹奏樂(東京)
◇一・〇〇 朗讀(東京)
◇一・三〇 新しい生活の建設(東京)
◇二・〇〇 放送國民學校(東京)
◇三・三〇 職場への放送・ラジオ體操(東京)
◇四・〇〇 中等學校科學教育講座
◇四・三〇 經濟通信(東京)
◇五・五五 コドモのニュース
◇六・〇〇 少國民の時間(東京)
◇六・三〇 [illegible]
◇六・五〇 時報(東京)
◇八・〇〇 報道(東京)
◇九・〇〇 管絃樂

慶弔・案內

石黑 [illegible]
遠藤 [illegible]
生徒 [illegible]
昭和 [illegible]
採用 [illegible]
副業 [illegible]

家賣 [illegible]
優良 [illegible]
有利 [illegible]
基隆 [illegible]
讓事 [illegible]
電話 [illegible]
獸醫 [illegible]
電話 [illegible]
株 はまやへ
カメラ [illegible]
カメラ [illegible]
映畫 [illegible]
メガネ [illegible]
ラジオは 松田
國民 [illegible]
ピアノオルガン [illegible]
京染 [illegible]
のせ [illegible]
引越 [illegible]
町の [illegible]
梅肉エキス [illegible]
喘息にはワーカ [illegible]
ドラ [illegible]
特許 [illegible]
新古 [illegible]
刀劍 [illegible]
冷藏 [illegible]
クツ [illegible]
金屬 [illegible]
冷凍 [illegible]
ミシン [illegible]
模型 [illegible]

三男治儀帝大病院入院療養中ノ處二十二日午前八時三十分死去致候間此段知己各位ニ謹告仕候
父 佐藤清
佐藤繁
松田昇
荒木安宅
宮地末彦

荆妻ハツヨ儀豫而病氣療養中ノ處藥石效無ク遂ニ二十二日午前三時十五分死去致候間此段謹告候也
夫 三好敏藏
女 ヨシ子
親族一同
友人一同

父臺灣總督府臺南高等工業學校教授從四位工學博士藤田保太郎儀病氣ノ爲去ル三月十八日午後十一時四十五分急去致候ニ付キ生前ノ御厚誼ヲ深謝此段謹告仕候
嗣子 永富卓郎
弟 平山喜久治
親戚 一番ケ瀨利八
友人 梅谷益男
友人 中柴佳雄
代 佐久間修三
義巖

臺灣總督府臺南高等工業學校教授從四位工學博士藤田保太郎殿病氣ノ爲去ル三月十八日午後十一時四十五分急去致候ニ付キ此段謹告仕候
臺南高等工業學校 報國校友會
臺南高等工業學校 工業報國會
代 佐久間巖

迎産婦人科病院　台北市御成町五丁目十七　分娩入院隨時　産科 婦人科 レントゲン科

マンドルハン　糖母酵民純日　1,000錠 2.70　330錠 1.00　★疲勞防止恢復 ★恢食 ★恢眠 ★恢便

台灣肛門病院

皮膚科 泌尿科 性病科　二根丸醫院

眼科　年田口醫院

皮膚科 性病科　於保診療所

院長休診中ノ所本日ヨリ從前通リ診療ニ從事仕リ候　臺北市大和町二ノ八　本村齒科醫院　電話五三九三番

倉庫賣却　臺灣米庫利用信用販賣購買組合

高專受驗夜學生募集　臺北高等豫備學會

火を吐く愛機を操縦
烈々たる我が"荒鷲"不撓の氣魄！
三機撃墜　六對一の空中戰

【○○基地發同盟】見よ烈々たる我が荒鷲不撓の氣魄を——六對一の空中戰にも拘はらず敵三機を血祭に擧げ火を吐く愛機を巧に操縦し天を蔽ふジャングルの大樹海を見事に突つて不時着したほか救出後の統にしがみつき敵弾を拔け翔る敵機を片つ端から撃墜、悠々危機を脱したといふこれはビルマ、タイの國境ジャングルの奥深く秘められた決戰の物語りである……

陸鷲（○○部隊）鑑田機は當時敵の遠飛行基地であったモールメインから敵の編隊四機が○○に向け出撃せんとしてゐると情報を得て直後これが邀撃に飛び出し目的を達しての歸途○○の上空に差掛つた時、ふと敵方を見ると敵のスピットファイアー機六機が追尾し襲ひさがつてゐる、何を小癪なと反轉、見る間に一機を血祭に擧げたが、その瞬間鑑田機も機關部を射撃、胴首かれて火を吐いた。鑑田軍曹（北海道出身）の眼には猛烈な自機の炎が走つた、しかし敵戰鬪機の任務を果さなければならない鑑田機は見る間に急降下（?）火を消さんとしてゐるのだ、ここぞとばかり敵機は猛然と襲ひかかつてくる、ジャングル深く突込んだ鑑田機は低木の飛鳥の如く灰藍色の中に突込んだ、見れば敵一機が真紅な火を吐いて落ちて行く、鑑田軍曹は危機を敵機に追ひすがつたが愛機はおそろしく安定を失ひこれ以上の飛行は不可能となつたので不時着の場所を求めた、しかし地上は物凄いばかりの樹海、そのうへ機關部はまだ火を吐いてゐる、絶體絶命の窮地に陷り込まれたが鑑田軍曹は沈着果敢にそのジャングルの間を縫つて不時着に成功した、そこはビルマ、泰の國境地帯であつた、鑑田機が不時着すると見るや敵は襲び込んで襲ひかかつて急降下攻撃を始めた

鑑田（?）飛曹は機上旋回銃にしがみつきこれに應戰した、敵機の弾片が吹飛んでゐる猛烈な機銃で附近の地形は殆ど一變すると變つて行くとの死鬪は數刻まで繼續された、鑑田機外時間の急を知つて高鑑匪一中尉、仙台市出身

西方忠治曹長（鹿兒島縣出身）は救援に飛び立つた、不時着地點に急行して見ればスピットファイヤー三機がなほも鑑田軍曹に挑みかかつてゐる、それとばかりこれを片つ端から血祭りに擧げ敵機せんとしたとたん、遙か後方から物凄い爆音が聞えて來た、見ればバッフアーローとホーカー・ハリケーンが五機編隊で襲ひかかつて來る、こちらは西機だ、一機だ、先の戰鬪で翼は蜂の巣の様になり機關部の一部も破壞されてゐる、西方曹長はと見れば朱に染つてゐる、高鑑中尉は唇を噛みしめてこれに突つ込んだ、身を鮮血に染めながら西方曹長は銃身も裂けよとばかり射ちまくつてゐる。地上からは鑑田軍曹がこれまた必死の狙ひ射ちだ突如鑑田軍曹が飛び上つて萬歳を叫んだ、見ればハリケーン機が前方のジャングルに首を突込んで紅蓮の火を吐き續けバッファローもまた黑煙に包まれてゐる、かくて高鑑機は敵機一機を遁したのみで悠然高らかにあがつた、着陸した時鑑田軍曹は傷口をしつかと握りしめたまま意識を失つてゐた、しかし奇蹟といふかその後同軍曹は元氣を回復し今なほ前線で活躍を續け西方曹長の傷も漸く○○基地に悠々引揚げ再起を期してゐる

白衣勇士慰問獵
【宜蘭電話】宜蘭獵友會では陸軍病院の許可を得て廿一、廿二日の二日續きの休日を利用して出獵その獲物を以て宜蘭分院に療養中の白衣の勇士に廿三日夕食を御馳走する

ヨイコドモの獻金
【東港電話】東港郡佳冬國民學校高等科一年生五十二名は大東亞戰勝下銃後報國の念を昂揚し昨年六月一日から小遣の一部を節約し一日一錢を貯めて來た金が百十六圓になつたので二十日東港郡兵事課に提出陸海軍へ國防獻金した

水遁術で敵狀偵察
水中に二時間・袖岡一等兵の殊勳

【○○基地發同盟】機關銃を手にして水中に二時間水遁の術によつて見事敵陣偵察の任務を果した斥候隊がある、○○隊長以下六名は二月十六日バタアン半島東岸の敵狀偵察を命ぜられ友軍陣地を出發一路沼澤地帯を拔け敵陣地直近かに迫つた時、忽ち敵の反撃を受け斥候長以下三名は壯烈な戰死を遂げ、殘るは北村宗一兵長、袖岡四郎一等兵だけとなつた、袖岡一等兵は最後まで機關銃を持つて敵の猛射をものともせず辛うじて敵の○○池の線まで後退したが敵の反撃は益々猛烈を極めたので機關銃を抱いたまま池の中に飛び込んだ、水面はさながら夕立の後に彈丸の雨だ、身動きもならぬ猛射の中に身を潜めた、同一等兵は約二時間水中から首を出してなほも敵狀偵察を續け、福四百米ある池を泳ぎきつて友軍陣地に辿り着き一部始終を報つた、袖岡一等兵の奇襲によつて敵陣地〔配列は明瞭となり翌十七日の總攻撃によつて完全にこれを殲滅することが出來たのである

南方進出者鍊成會
【高雄電話】高雄商工會議所並に南方研究會では南方開拓に突進を目的とする南方進出鍊成會を四月一日から開催することになつた期間は約一ヶ月間で、南方事情等の講義の外精神訓練をもなすはずで目下募集其他の準備が進められてゐる

日本歷史決定版
"國史概説"文部省で出版

【東京同盟】わが日本歷史の決定版たるべき『國史概説』が文部省教學局の手によつて出版されることになつた、これは新たに高等文官試驗に國史が必須科目として採用されるに至つたのでその參考書としての目的と「教學刷新評議會」のための史實に立つて正しい國史觀を把握させるための參考書として發刊が計畫されたもの、昨年五月以來和辻哲郎、久松潛一の諸氏を始め權威三十餘名で編纂方針はわが國肇國以來の國史を一貫して流れる國民精神の眞髓を把握せしめ日本文化の創造發展と今日の大東亞建設に至るわれ等が歷史的使命を明かにし西洋史學に囚はれざる國史觀に立つて外來文化とわが文化との交渉移入の經過を明かにし世界的發展に進展するわが日本人の指針たらしめることを目標としてゐる、本書は大體菊版八百頁内外でわが國史の決定版たるべきものとして期待されてゐる

新戰場を語る座談會
他力本願英の戰法
(二)　第一次世界大戰を顧る

【大本營許可濟】米英艦隊は地中海を、そして紅海、印度洋を……〔?〕ヤバ陥落に拘らず、洪水のやうに大東亞海からインド洋や濠洲の外洋に進出早くも米巡マーブルヘッドを擊沈、大東亞海上作戰はこの方面に展開されて來た、之等の海域は攻める皇軍、守る米英の作戰にどれだけの利害得失があるか、又歐洲大戰當時獨逸はかりのゲリラ船の出沒にあの大海軍力を持ちながら太平洋、印度洋等の警備をどれだけの打擊を受けるかを知る爲本社は第一次歐洲大戰に聯合國側に味方し、ドイツのゲリラ戰に對し或は軍隊輸送に當つた三國の帝國海軍特務艦隊の首腦部の方方の御參集を乞ひ「新戰場インド洋と濠洲、地中海を語る」座談會を鼎ヶ岡の軍で催し當時の貴重な體驗談を伺つた、今やドイツはわが盟邦である、この戰闘は將來戰を考へる上から戰史的に第一次大戰を例にとつたに過ぎない、いま之等が大洋に活躍する我海軍將兵の苦心を偲び日本を敵に廻した今日の英國海上國際の窮狀を理解したいと思ふ

（註）特務艦隊とは當時聯合大戰に我國は獨のゲリラ戰對ひのため三個特務艦隊を編成して聯合國の援助に向つた、即ち第一特務艦隊はインド洋南支那海を、同分遣隊（馬公、澎湖、東洋、基隆）は南阿方面に

……出席者……
- 第三特務艦隊司令官（當時）　海軍中將　山路一善閣下
- 海軍省軍務局第一課長（同）　同　古川鈊三郎閣下
- 第一特務艦隊參謀長（同）　同　鳥巢玉樹閣下
- 第二特務艦隊參謀（同）　同　安東昌喬閣下
- 第二特務艦隊參謀（同）　海軍少將　岸井孝一閣下
- 海軍報道部課長　平出英夫大佐殿
- 本社側　古野以下

本社　この機會に第一次世界大戰當時の御體驗を一つ御話し願つて、この方面の戰爭知識を國民に與へたいと思ひます、第一次世界大戰と云ふと今から二昔以上にもなるが、當時艦隊司令長官の山本大將その他の方々も既に分若い頃だつたと思ひます、平出さんも當時は少尉位でしたか……

平出大佐　いや兵學校の生徒ですよ、戰爭の末期に候補生になつたのです、初めの三年間はまだ兵學校です

本社　まづ第一次世界大戰の時に英國がどうして日本に援助を要求して來たか、どうも當時は極めて有力なドイツ艦隊が英本國の近くに健在であつたといふやうな事情もあつて今よりも英國は苦しんで居つたとも考へられるのですが

古川中將（軍務局課長）私が軍務局に居つたのは大正四年でした、軍務局は當時山路閣下が參謀長をして居られる下で參謀で居つたのです、大正三年頃所謂尚明丸事件による海兵遭難沈没といふやうなことも聞いたやうに覺えて居るがはつきりして居りません、その後に重ねて英國より要請があつたと記憶してゐます、兎に角その當時聯合國の情勢、殊々思ふやうに物語るのぢやないかと思ふ、艦隊を出す迄のことを申しますと大正三年の末には大體大西洋方面に於ける敵艦が片付いて、大正四、五年はＵ艦艇のやうな恰好にあつたのです、それが例のウルフ等が出て來て印度洋が危いといふやうなことやその他色々の關係であの方面に於ても艦隊を出されることが必要であるとの御考へで商派遣になつたものと今でも思つてをります、その當時の所謂ゲリラ戰で商船がどんどん擊沈され英國としては殆ど何週間しか持たぬといふ位になつた狀況でした

本社　少くとも英國に今よりもつと窮迫した狀態にあつたこと

▲出席者略歷

古川鈊三郎中將　長野縣出身、本年七十一歳、明治二十七年海兵卒業を以て兵學校卒、英國駐在、三十七年佐世保參謀、第一次大戰中には軍務局第一課長、少將になつてからは横須賀參謀長、人事局長、教育局長に歷補、大正十二年中將に累進、練習艦隊司令官、佐世保長官、昭和四年豫備役、專ら郷土方面を歩んで來た

鳥巢玉樹中將　近代海軍に幾多の提督を送つてゐる佐賀縣出身、六十六歳、明治三十年兵學校卒業日露戰役には第一艦隊三笠乘組

〔?〕の下に大尉參謀として參加、海軍大學校卒業、大正六年八月艦長で第一特務艦隊參謀長、英國大使館付武官、同十四年中將に昇進、兵學校長、佐世保鎮守府司令長官を歷任、昭和六年豫備役編入、現在伏見宮家別當、英國通である

平出英夫大佐　香川縣出身、本年四十七、大正六年兵學校卒、同十一年海軍大學專科學校卒業から駐伊大使館附武官補佐官、第二遣支艦隊副官、軍令部員、英國一年半駐箚附武官と兼務として發を擧げた……〔?〕局第一部長として名聲を擧げた人

鳥巢中將（第一特務艦隊參謀長）私は記憶の一端を話しますが、一番初めイギリスの考へは日本は成るべくこの戰爭に入れたくないといふ態度だつた。それでまあ大限内閣であつたと思ふが大隈内閣はなるべく早く攻略したいと云ふことで初めはこちらから参加するやうに云つてやつたが向ふの外務大臣から拒絶して來た譯です、所が段々やつて見るとドイツにはジャルンホルスト、グナイゼナウといふやうな有力な巡洋艦が居るし英國艦隊だけぢやドイツに抵抗し切れぬといふ情勢が段々見えて來たので今度は向ふから日本に參加してくれと云つて來たのです、日本が參戰するか參戰しないかといふことについては隨分色々の議論があつた、その當時の實狀を一寸申し上げますと、私が英國へ參つたのは大正五年ですが丁度その頃ジェットランドの海戰があつた、御承知の通りジェットランドの海戰はイギリスは殆ど勝敗的に優秀な艦隊を持ち十數六の勢力を以てドイツの艦隊と戰つたのですが損害はイギリスの方が非常に多かつた、で私の參つて居つた頃の巡洋艦の艦隊ではクイン・メリーが沈みインビジブルその他二隻の巡洋艦計三隻も沈められた、といふ狀況でイギリス艦隊も非常に勢力が弱つて來た、現存して居るものも多大、損害を受けまして私が行つた時には僅にタイガーが一隻、それから滿足なのはインドメタブルとインフレキシブル二隻といふ狀態であの強大な英國海軍が實に悲觀な狀況にあつたのです、イギリス海軍としては非常にドイツ海軍を恐がつた、ビーナー提督が丁度巡洋艦隊の司令長官をして居つたが彼が時々私に「日本には金剛、榛名、霧島といふやうな立派な巡洋艦が四隻ある、然も皆に運力も早いし北海方面に置いて貰ふのに適當な艦だから北海方面に送つてくれるといい」と度々云つて居つた、私は「あの四隻は日本の最も有力な、大切な艦だからわざわざこんな遠方に送ることは政府も承諾しないだらう」と云つて置いた、果して政府から拒絶して來た、さうかうしてゐるうちに英國の巡洋艦も修理が段々出來ライオンとか、レベルスとか、レナウン等が段々出來上つて來て、巡洋艦隊が優勢になつて來た、ところが今度はドイツも兵力を恐縮して潜水艦戰をやり始めた、段々商船の沈められる數が多くなつて來てわざわざ南米邊りから食料品を持つて來るとロンドンの入口、ニューカッスルの入口邊りでどんどん沈められた

小艦艇の不足

から食つて來るとどうしても驅逐艦とか對潜水艦用の小艦が澤山要るといふので今度は日本に驅逐艦を送つて貰ふやうにしたいと云ひ出した、それで日本としては必ずしも向ふの要求を聽いたといふのぢやなかつたが同盟國の誼もあり、又實際の經驗をしたいといふて相當の働きをし、又實際の經驗を得ることも等もあつて地中海に艦隊を送ることになつた次第だと思ふ、兎に角イギリスとして非常に手不足だつたのです、あの頃は大きな戰艦は持つて居るけれども手足となつて働く所の艦がない、英國は始終ジェットランドの沖とかデンマーク邊りに出て行くがさういふ大きな艦が出て行くのに護衛する小さな艦が足りない、一方に於いては地中海更にサロニカ方面ダーダネルス方面に非常な兵力を送らなければならない、そんな譯で日本から驅逐艦を送つて貰つたことは非常にイギリスとしては感謝して居つた、或る時先帝ジョージ五世が艦隊に來られたことがある、その時お茶の會で特に私に「日本が驅逐艦を送つてくれたことは非常に有難い」と云はれた、それは丁度その時に僅かサロニカに兵隊を送つて居つた時代と無ひますがブリスペーンと云ふ大きな運送船が沈められた、ところがそれを護衛して居つた日本の驅逐艦が非常に勇敢に戰ひ乘組員の殆ど大部分……二千人近くを救助した、ロンドンの新聞にも大々的に報道されたがさう云ふことがあつたものだから、特に私に感謝されたやうな譯です、それで兎に角日本が驅逐艦を送つたといふことはイギリスに取つては最大の助けだつた、それから今申し上げたやうに日、獨艦は孫底持つて行けないと云ふので今度はアメリカが早く參戰してくれればいいと云ふ希望が非常に盛んになりそうちにアメリカも參戰するやうになつてイギリスはやつと安心したやうな次第だつた、それからイギリスが一番困つたのは大正六年の四月頃で大戰一ケ月は九十萬噸近くも商船が沈められて居る、もう斯うなるとイギリス國民も非常に不安を感じ"サイレント・ネービー"と云つて非常に信頼して居つたのがもう堪らなくなつて新聞等は「イギリス艦隊は何をして居るか」と云ひ見出しで盛んに攻擊し出した、また食糧などは極端に窮して一九一六年の四月頃がイギリスにとつて一番厳重な時代だつたと思ふ

日本のお蔭で

それで段々彼等は潜水艦に對する戰法を考へ驅逐艦を以て出來るだけ攻撃するとか或は護衛する兵艦は出來た新しい兵器であるがさういふ工合に潜水艦に對する防禦の方法を段々考へて護送船が比較的少くなるやうになつて來た、丁度私が帰りにアメリカに寄つた時に今の野村大使があすこの武官をして居つて一緒にヴインソン提督を訪ねたが、彼は「イギリスは今潜水艦に非常に困つて居るが何處迄耐でやらぬか」と云ふやうな話をして居た、併今當時のイギリス工業力では何處と云ふ確然を造ることは困難であつて、アメリカが參戰してイギリス近海に哨戒隊を送りそれからずつと潜水艦の一番元でなくなつた、さういふ狀況でイギリスは日本に驅逐艦を送つて貰つたアメリカが参戰するといふやうなことになつたので非常に助かつたので、イギリスとして參戰を望み掛けたのぢやないかと思ふ（つづく）

戰捷日本の銃後 ⑤
全將兵へ感謝の祈り……
聖戰完遂へ固き決意……

（寫眞は臺灣神社で必勝を祈る國民の群）

……將兵へ感謝の祈り……無我の心で勝ち抜……それは銃後の誰もが聖戰完遂への固い決意を秘めて……と臺灣鎮守の臺灣神社の鳥居には雨の日も、風の日も前線將士の武運長久と赫々の戰果を心から感謝する老若男女の群で賑はつてゐる、また一日も缺かさず日參するヨイコドモ、國粹の窓内清掃奉仕部隊を始め會社員、青年團或は個人の奉仕等を手にした一群が早朝と夕刻には聖なる神域で清い汗と共に消費に餘念がない、斯くして一億一心米英膺懲とただ一筋に邁進して行く頼母しさが臺灣神社をはじめ全島各地の神域に見受けられる、臺灣神社に話を聽く……

……大東亞戰以來は參拜者は非常に激增しました、昨年中は約九十萬からの參拜者がありましたが今年は一月から三月中旬までで三十萬近くあり、同期間に於ける昨年との比較は十萬以上も增してゐると云ふうれしい數字を示しました、また奉仕團體も非常に多く神社の方としては何處の誰が奉仕して下さつてゐるのか知らぬほど次から次と大人、青年、子供等全く感謝に堪へません、更に參拜者の態度も心から祈ると云ふ感じが見受けられ、早朝參拜者が增加しつつある傾向は全く同慶に堪へません（寫眞は臺灣神社で必勝を祈る國民の群）

愛の赤道 (19)
竹田敏彦　作
都竹伸一　畫

異母兄（四）

「……？」

麟岡、恭輔は、はつとした風で睨に擦るやうな眼を二郎に向けた暫らくして、

「何うして、また、そんなことを訊くんだ」

何か詰問めいた調子が、熱くなりかけて來た二郎には、冷か熱情に弾みきつた二郎には、冷かな水でも浴せられたやうに感じられた。そして、思はず不滿の色を見せたが、

「それは、今も言つてゐるぢやありませんか。二人が兄弟だからですよ」

自分の無力を顧る唯一の防禦として、ともすると身を避ける恭輔の御用心を、一擊のもとに打碎くやうに言つた。恭輔は氣押されたやうに、口をつぐんだが、すぐ

「弟ぢやや、お前の眼鏡に斷はない」

「お前の弟として、お前は何う思ふ」

二郎は訊ねた。自分の意志は一應隱しておいて、それを相手の口から言はせやうといふ、これも恭輔のやり口である。と、二郎は考へた。それは、恭輔の姿勢といへば接ざきだが、彼の立場も、悲壯な靡きが作り上げた意志だと思ふ、二郎は卻つて同情を覺えた。そのつもりで、遠慮なく

「僕は此際、世間は許したいのです。しかし、たとへばさうと申しました、千鶴子を僕にとつて見ますと、二人は比較しても同じです。殊に、謙遜しても、性格兩方です。限りに二人を比較してみて、そこに何ういふ意見が起るかといふことです。しかも兄さんの方は、以前に比べあまり鼻子は冷かに見てゐないで、千鶴子をよく可愛がつてるやうに思ふのです。僕より兄さんの氣持よりも、周圍の氣持から見てではないかと心配して訊ねるのは、そこなのです。但し、人間の氣持といふものは、必ずしも一定不變ぢやありませんから、今の兄さんの心境は、何うか、よくわかりませんが

——」

果して、恭輔の表情は、異様に歪んだが、

「いや……」

と、險惡さうに、眼を外らせた。

「以前は、そんなこともあつたかも知れないが……」

「しかし、千鶴子は、僕に確かな可哀想なほど利口な娘だよ……」しみじみと言つて顔を伏せた。

二郎はすかさず、

「さうですよ。遠慮なく言へば、僕なら、あれを選びますよ」

恭輔の心を引き出すやうに言つた。すると、恭輔は顔を上げて、暫らく二郎を見てゐたが、

「何うだね、お前、あの娘を嫁にしないか」

「僕が……」

二郎は驚いたが、すぐ笑ひだしたから

「今は兄さんの話をしてゐるんぢやありませんか。僕には、僕の別な考へがありますから」

何氣なく外らしてしまつた。

「いや、僕の眼鏡なんか、何うでもいいんです。ただ兄さんの氣持を知りたいのです。兄さんが、あれで結婚したと思ひなら、僕も双手を擧げて祝福します。しかし、今も言つたやうに、假りにも、それが兄さんの氣持でなく、周圍の意志で已むなく強ひられる、とでもいふやうな事情でしたら、これは兄さんの一生の問題ですから、遠慮なく打明けていただければ、僕も考へがあるといふだけのことです」

「いや、ありがたう」

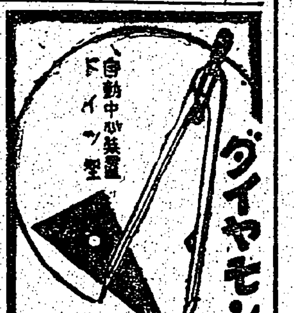
恭輔は、そこでも二郎に謝意を示したが、

「別に、兄さんに、不滿などはないさ」

「さうですか、いや、それならいいんです」

「しかし……」

今度は恭輔が、



今日の映画
- 新世界館　1 天狗廻状 2 狗状 3 流の人 4 狀況入　正午より 午後…
- 臺灣館　1 劍 2 二十手流 3 …… 正午より四回
- 芳乃館　1 短 2 ……エ 3 乙女 女姉妹　正午より
- 大世界館　1 山荘の怪事件 2 最後の一日　正午より
- 國際館　1 ニュース 2 空の轟 3 ……　正午より
- 第二世界館　1 ……の言 2 ……　正午より

ミミキリノン　腦溢血豫防　動脈硬化　高血壓　中風　便秘　肩凝り　不眠頭痛　惡醉二日醉　ツマイ

正しき月經促進新薬　エムサン　月經不順　月經異常　月經過少　無月經　一流藥店にあり　内用・副作用なし

病毒で苦しむ人へ　百名限り無料で親切に

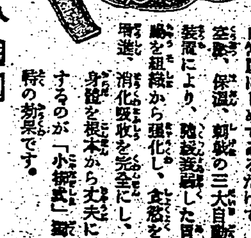
ゴコーのかほり　髮の臭みを消して薫髮にする頭髮香水

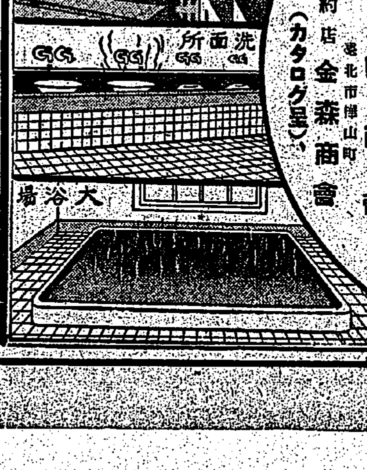
下痢に　治療にも豫防にも　強力殺菌整腸　セダン　製造元 東京淺草柳橋二丁目 安田研究所　總代理店 株式會社 玉置商店　特約店 台南市 三輪藥堂

マミヒラン　チック　……チックです　無駄なく使ひませう

居ながら英米體が集る　病弱者に細胞活力を増強する　作業ホルモン　ミアクトン錠　東京・京橋　ラヂウム製藥株式會社

お化粧の美さもモチも違ふ　アストリンゼンで粉化粧が美しく出來る　アストリンゼンでなぜ粉化粧が美しく出來るか？　明色アストリンゼン


胃腸病に　小柳式健康帶　慢性胃腸の人　胃腸下垂の人　胃酸過多の人　便秘不眠の人　血色の惡い人　產後病後の人　全國デパート・有名藥店にあり　東京市神田區須田町一ノ三〇　三信株式會社


巴ボイラー　煖房・水道衛生・淨化裝置　設計施工請負　工場、鑛山、兵舍、寄宿舍、病院等の大小浴場、洗面所、湯呑所、消毒室其の他給湯用　燃料非常時に各種燃料を完全に燃燒せしめ給湯能力迅速なる最新温水罐で、堅型、横型、貯湯式の各裝置ありて多量の湯を使用するに好適　株式會社 巴商會　特約店 金森商會

中將湯　生めよ殖せよ　から一歩前進　強い母體から強い子を！　婦人疾患、產前產後の藥——中將湯によつて……　津村順天堂